

会 議 録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-4566-2511

附属機関又は 会議体の名称		令和2年度 未来戦略創出会議(第4回)
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		令和2年7月22日(水) 14時00分～15時00分
開催場所		庁議室(本庁舎5階) ※一部の委員・幹事はビデオ通話にて出席
議題		(1)SDGs 未来都市・モデル事業の選定について (2)外郭団体経営改善検討について
公開の 可否	会議	☐ 公開 ☒ 非公開 ☐ 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区行政情報公開条例第7条第1項第5号による
	会議録	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	区長・副区長(2)・教育長・政策経営部長・総務部長・危機管理監・施設整備担当部長・区民部長・文化商工部長・環境清掃部長・保健福祉部長・健康担当部長(欠席)・池袋保健所長・子ども家庭部長・都市整備部長・地域まちづくり担当部長・建築担当部長・土木担当部長・会計管理室長・教育部長・選挙管理委員会事務局長、監査委員事務局長、区議会事務局長
	幹事	企画課長・財政課長・行政経営課長・区長室長・広報課長・総務課長
	説明者	企画課長、行政経営課長
	事務局	企画課企画調整グループ係長

審議経過

(1) SDGs 未来都市・モデル事業の選定について

説明者 資料に基づき、SDGs 未来都市・モデル事業の選定について説明。

はじめに、SDGs の概要について説明する。SDGs は、2015 年に国連サミットで採択された、2030 年を年限とする 17 の国際目標であり、地球上の誰一人取り残さない社会の実現を目指し、経済・社会・環境の諸課題を統合的に解決しようとするものである。この度豊島区が選定されたのは、「SDGs 未来都市」と「自治体 SDGs モデル事業」の2つである。今年度は、SDGs 未来都市は 33 自治体、自治体 SDGs モデル事業は 10 自治体が選定されている。自治体 SDGs モデル事業は、SDGs 未来都市の中から特に先導的な取組を行う自治体が選定されるもので、モデル事業に選ばれたのは東京初の快挙である。

続いて、モデル事業のうち統合的取組として提案した2つの事業について説明する。1つ目は、池袋駅周辺の4つの公園を核にしたまちづくりである。池袋駅周辺にある、池袋西口公園、南池袋公園、中池袋公園、としまみどりの防災公園(イケ・サンパーク)の4つの公園の運営団体を連携させることで、「新たな交流、表現、にぎわい」を創出する。また、環境にやさしい電気バスで各拠点を回遊できるようにするというものである。2つ目は、暮らしの中にある小さな公園の活用である。こちらはすでに取り組みが始まっているものであるが、地域住民と共に地域特性を生かした活用方法を検討・実践するもので、具体的には地域の方と「井戸端かいぎ」を開き、公園をどのように活用するか話し合いながら実際に花壇づくりのワークショップに繋げていくというような、コミュニティの中での公園の活用を進めていく取り組みである。

最後に今後のスケジュールについて説明する。8月6日には、衆議院議員の岡本 みつなり氏と内閣府の SDGs 担当職員を講師として、全管理職を対象とした SDGs の研修を予定している。後日、人事課より正式な通知を送付させていただくので、ご参加いただきたい。8月下旬には「SDGs 未来都市計画」の公表、「自治体 SDGs モデル事業」補助金の活用方法の検討、9月以降にはモデル事業及び普及啓発事業等の実施、後期基本計画への SDGs 反映方針の検討を予定している。全庁をあげて取り組んでいくので、各部局においてもご協力を賜りたい。

区長 これまでに SDGs 未来都市、モデル事業に選定された自治体はいくつあるのか。

説明者 今年度が3年目となるが、SDGs 未来都市は 93 自治体、モデル事業は 30 自治体が選定されている。

区長 豊島区がこの度 SDGs 未来都市に選定されたのは、消滅可能性都市からの脱却を目指して進めてきたまちづくりや目指す将来像が SDGs の考えと合致したからだと考えている。区民に説明する上でも「消滅可能性都市からの脱却」というフレーズを入れた方がわかりやすいので、入れてもらいたい。

説明者 承知した。

⇒報告のとおり了承する。

(2)外郭団体経営改善検討について

説明者 資料に基づき、外郭団体経営改善検討について説明。

豊島区における外郭団体は7団体あるが、このうち5団体が直近5年以内に赤字を計上し、中には赤字が常態化している団体もある。大きな利益を上げる事が外郭団体の目的ではないが、経営悪化により必要なサービスが区民へ提供されなくなることが懸念されることから、事業収支の妥当性や効率性を意識した経営改善を進める必要がある。

このことから、外郭団体の経営改善を検討するために「経営改善検討会」を設置し、令和2年度は区からの委託料等が団体の歳入のほとんどを占めている3団体を対象として検討を進める。会議のメンバーは各団体の所管部課長等とし、経営状況の詳細な把握及び経営改善の具体的な検討をしていく。スケジュールとしては、7月をキックオフとして、全事業の洗い出しを行い、10月から12月の間で中間報告、3月には最終報告をしたいと考えている。

副区長 これまでは経営改革についての具体策が明確ではなかった。検討会を設置し、経営改革の具体的な計画を区長に示してもらうようにしたいと考えている。

⇒提案のとおり決定する。

会議の結果	(1)SDGs 未来都市・モデル事業の選定について (2)外郭団体経営改善検討について →(1)ついて了承、(2)について決定
提出された資料等	・SDGs を通して「国際アート・カルチャー都市」の実現へ ～誰をも受け入れ、誰からも受け入れられ、持続して発展する豊島区の構築～ ・外郭団体経営改善検討について